

緑のボランティア通信

2023.7.1

No.85

特集 花と緑のまちづくり講座

緑化推進リーダー育成講座「花と緑のまちづくり講座」は、これから緑のボランティア活動を始めようと考えている方や、すでに活動をしている方が花と緑の花壇作りを実践しながら基礎知識を学んでいく講座です。修了生が学んだ経験・知識を仲間や地域に広め、市内各地で活躍してほしい、という目的で開催しています。

今号では前回の様子を通じて「花と緑のまちづくり講座」を紹介します。

令和4年度は、コロナ禍の中16名の方が修了生となりました。本講座は全6回あり、座学から実習まであります。回を重ねる度に参加者同士の交流も生まれ、全員で作り上げた実習花壇は行き交う市民のいこいの場所となっていました。

講師を招いて、
花と緑や土の
基礎知識について
講義



どんな花壇に
するのか？
実習花壇の
周辺環境状況の
観察



花壇の
イメージと
テーマを
検討して発表



合意形成した
デザインをもとに
花壇の植え付けの
実習



写真で紹介した内容のほかにも、川崎市の緑についての講義や、土づくり等様々な知識や経験が得られる講座となっております

令和5年度「花と緑のまちづくり講座」はこれからご応募できます

- 日程：① 9月12日(火) ② 10月10日(火) ③ 10月31日(火) ④ 11月14日(火)
⑤ 12月12日(火) ⑥ 1月23日(火) ※各回10時～16時
- 会場：①②⑤川崎市総合自治会館 ③④会館とどろき
- 対象：市内在住、在勤、在学の方（原則全6回参加できる方）定員30名
- 申込：当協会ホームページ申込フォームもしくは区役所・市民館に配布される申込書に必要事項を記載して、当協会へ郵送・FAX（申込書は協会HPでもダウンロード可能）

応募締切

8月17日

ホームページ
申込フォームは
こちらから



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

特集!花と緑のまちづくり講座	1
第19回わがまち花と緑のコンクール 入賞作品決定 / 協会ニュース 知っていますか?緑のタウンページ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

第19回わがまち花と緑のコンクール 入賞作品決定

市内の花と緑による美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施している「第19回わがまち花と緑のコンクール」は121件の応募を頂きました。そして市民運営委員による現地調査と、学識経験者等の選考委員会を経て、大賞ほか各賞が決定しましたので、一部ではありますがご報告します。

なお、表彰式は6月24日(土)に中原市民館で開催され、市長より表彰状の授与、記念講演等を行いました。



団体部門
大賞

飯室谷町会 (多摩区)



個人部門
大賞

山崎 愛子さん (高津区)

団体の部

(敬称略)

賞名	区	団体名
大賞	多摩	飯室谷町会
親しみデザイン賞	中原	花クラブ実行委員会(2班)
沿線ダイナミック賞	多摩	菅町会環境整備委員会
みんなのアイデアガーデン賞	宮前	宮前コミュニティガーデン実行委員会
スマイルキッズ賞	中原	ChaCha Children Imai (ちゃちゃちるどれんいまい保育園)
新人賞	高津	エンゼル桜会

個人の部

(敬称略)

賞名	区	個人氏名
大賞	高津	山崎 愛子
いこいのオープンガーデン賞	川崎	比嘉 孝
みんなのわくわく賞	高津	遠山 久美子
彩りエレガント賞	麻生	増田 明美
新人賞	多摩	野口 稔

上記の賞以外にも連続努力賞8作品が入賞されました。
なお、「コンクール報告・花と緑のマップ」には全応募作品の
写真が掲載されておりますので、是非ご覧ください

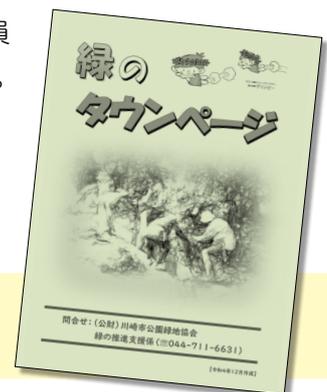


協会ニュース 知っていますか? 「緑のタウンページ」

当協会では、「ボランティアを知りたい・始めたい方」と「活動を広報したい、会員を募集したい団体」とのマッチングのために、「緑のタウンページ」を発行しています。

緑の活動団体に登録している団体の中で、掲載を希望された97団体の活動内容や活動日が各区ごとに掲載されているので、これから活動を始めたい、という方にピッタリの冊子となっています。

緑のタウンページが見たい!という方や、掲載したい!という団体は、
当協会までお問合せ下さい



菅小谷みどりの会 (2012年設立)

活動場所 菅小谷緑の保全地域 (多摩区菅仙谷2丁目5792-1ほか)
交通案内 京王相模原線「京王稲田堤駅」から徒歩10分



当会は川崎市の所有地である菅小谷緑の保全地域で活動をしています。2010年に土地の所有者が川崎市へ変更になったのをきっかけに、近隣住民が川崎市や公園緑地協会から指導を受けながら保全活動を始め、2012年に会を立ち上げました。現在は川崎市より管理運営協議会の認定を受けています (名称は使い分けをしています)。

緑地にはめずらしい真竹の竹林や落葉広葉樹林などがあり、周囲を住宅地や畑に囲まれた小さな里山 (約0.7ha) で、普段は施設管理されていて人の出入りがないためか、タヌキを見かけることもあります。

活動は竹林の整備や花壇の手入れ、草刈り、樹木の剪定や伐採、排



水路を整えたり、歩道を整備したり、落ち葉堆肥を作ったりと、年間を通して作業は途切れることがありません。法面や高木、虫による被害など、知識や技術が追い付かず管理が難しい問題もありますが、自然と触れ合う楽しみを感じながら憩える緑地を目指して活動しています。

(陣内 周子)

古沢都古の会 (2019年設立)

活動場所 古沢都古緑地 (麻生区古沢255-8)
交通案内 小田急線「新百合ヶ丘駅」より徒歩10分



当会の活動場所「古沢都古緑地」は新百合ヶ丘総合病院の地続きの竹林が中心の里山です。当会の発足は、古沢都古緑地で開催された川崎市公園緑地協会の「かわさきの森づくり」講座に参加し「ここで活動したい」と思い、家庭菜園や先述の講座に参加した二十数名が集まり急ごしらえで団体を立ち上げたことがきっかけです。活動内容は竹林の間伐、下草刈りを主に、自生している野草を育てたりなど年間を通じて活動しています。5年間の活動で古沢都古緑地は快適な環境になりつつあると思います (竹林



がきれいになり、気

持ちよく作業ができるようになりました)。また、古沢都古緑地が地域の人達がなごめる場所として行きたいと思います。(町田 進)



いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。

みんな「ハーブ」を
育てようって、色んな香りや
味のある植物を植えているけれど、
「東洋（とうよう）のハーブ」と
呼ばれている僕のことを
忘れてないかい？

03 「ドクダミ」

(ドクダミ科・ドクダミ属)

Houttuynia cordata

全国に広く分布する多年草。葉や茎に独特の臭いがあることや、生育力旺盛で、地下茎を伸ばして繁殖することから、厄介者として扱われることも少なくないが、薬効は胃腸病・高血圧・動脈硬化、皮膚病などにも用いられることから、生薬として「十薬」と呼ばれている。また、欧米でも東洋のハーブとして人気が高く、観賞用として、八重咲になった「ヤエドクダミ」や、葉が白やピンク色などに色づく「五色ドクダミ」などの品種も登場している。

夕方にお化粧をして、
紅色の花を咲かせる私。
え？昼間から咲いている
姿を見たって？
それはあなたの
気のせいよ。

04 「ユウゲショウ」

(アカバナ科・マツヨイグサ属)

Oenothera rosea

北アメリカ南部原産で、明治時代に観賞用として持ち込まれた後、野生化した多年草。昼間は閉じていて、夕方に開花することが名前の由来になっているが、実際には昼間から咲いていて夕方にはしぼんでしまうこともある。マツヨイグサ属の多くが夜咲きであることや、日本で野生化する段階で変化したという説もあるが、明確な理由は分かっていない。オシロイバナのことを「ユウゲショウ」と呼ぶことがあるため、「アカバナユウゲショウ」と呼ばれることもある。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究者)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使ってしまっていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>